



2026年3月11日

各位

会社名 モ イ 株 式 会 社  
代表者名 代表取締役社長 赤松 洋介  
(コード番号：5031 東証グロース)  
問合せ先 取締役経営管理本部長 入山 高光  
(TEL：03-3527-1471)

**本社移転に伴う特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩し、並びに通期業績予想と実績値との差異  
及び前期実績値と実績値との差異に関するお知らせ**

当社は、2026年1月期において、下記のとおり、本社移転に伴う特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しを行いましたので、お知らせいたします。また、2025年12月10日に公表しております業績予想と前期実績値について、それぞれ本日公表の2026年1月期実績値との間に差異が発生しましたので、併せてお知らせいたします。

1. 本社移転に伴う特別損失の計上

2025年11月21日に公表しております本社移転の予定に伴い、2026年1月期において、現本社の建物附属設備及び敷金に係る減損損失として2百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 繰延税金資産の取崩し

当社は、2026年1月期及び今後の業績動向を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、2026年1月期において、繰延税金資産1百万円を取崩すとともに、法人税等調整額1百万円を計上いたしました。

3. 業績予想と実績値との差異

前回発表業績予想と2026年1月期実績値との差異については、下記のとおりです。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,612	百万円 328	百万円 373	百万円 —	円 銭 —
実績値 (B)	6,688	339	389	101	7.28
増減額 (B - A)	75	10	16	101	—
増減率 (%)	1.1	3.3	4.3	—	—

(差異の理由)

売上高については、メンバーシップ売上が前回予想比0.9%減の着地であったものの、各種マーケティング施策の効果等により、ポイント販売売上(前回予想比1.3%増)とプレミアム配信売上(前回予想比2.5%増)が前回発表の業績予想を上回り、6,688百万円(前回予想比1.1%増)となりました。

販売費及び一般管理費は、主にマーケティング施策の費用対効果向上による費用圧縮(前回予想比11.2%減)

と音楽著作権使用料の増加に伴うその他費用の増加（前回予想比 13.3%増）の影響を受け、3,008 百万円（前回予想比 0.5%増）と前回予想を上回りましたが、売上総利益が、売上高に連動して販売費及び一般管理費の増加分を上回って増加し、3,348 百万円（前回予想比 0.8%増）となりました。

以上により、営業利益については、339 百万円（前回予想比 3.3%増）となりました。また、営業利益の増加に伴い、経常利益については、389 百万円（前回予想比 4.3%増）となりました。

当期純利益及び1株当たり当期純利益については、前回の業績予想発表時点で予想数値の算定が困難であることから未定としておりましたが、前期実績値と 2026 年 1 月期実績値に差異が生じました。詳細については、「4. 前期実績値と実績値との差異」を参照ください。

#### 4. 前期実績値と実績値との差異

前期実績値と 2026 年 1 月期実績値との差異については、下記のとおりです。

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 期 実 績 ( A ) ( 2 0 2 5 年 1 月 期 )	百万円 6,592	百万円 232	百万円 256	百万円 27	円 銭 1.99
実 績 値 ( B ) ( 2 0 2 6 年 1 月 期 )	6,688	339	389	101	7.28
増 減 額 ( B - A )	95	106	133	73	—
増 減 率 ( % )	1.5	45.9	52.1	265.4	—

##### (差異の理由)

2025 年 12 月 10 日に公表しております 2026 年 1 月期の業績予想の当期純利益及び1株当たり当期純利益については、営業利益及び経常利益が 2025 年 3 月 12 日公表の計画を上回る見込みとなったこと及び繰延税金資産の回収可能性の検討に時間を要するため、予想数値の算定が困難であることから未定としておりましたが、上記「1. 本社移転に伴う特別損失の計上」、「2. 繰延税金資産の取崩し」に記載のとおり、特別損失及び法人税等調整額を計上することにより、前期実績値と 2026 年 1 月期実績値に差異が生じました。

以 上